

国指定名勝『三多気(みたけ)の桜』で景観まちづくりの4回目の活動でした！

今回は、2人の学生さんが参加してくれました。

活動は、いつもどおり国登録有形文化財「田中家住宅主屋」でのランチミーティングから～

とても天気良かったので、縁側に座って景色も楽しみながらの食事でした。

昼食後は、同じく津市美杉の奥津地区で地域活性化に取り組むご夫婦をお迎えして、意見交換をしました。ご夫婦は、市外に在住ですが、伊勢奥津駅前ではジャズコンサートをしたことがきっかけで美杉に惚れ込み、現在、空き家リノベーションに取り組んでいるとのこと！保全会のメンバーもみんな興味津々です。

保全会の活動は、第2回と同様で、桜のナンバリング。第1回の桜の診断結果をもとに、1本ずつ確認しながら作業を進めます。また、活動中には、桜の木の「やどり木」の除去作業に遭遇。

やどり木とは、鳥のフンの中に混ざっている他の植物の種が、桜の木の枝などで発芽し成長したものです...みんな、空き家リノベーションのことが頭から離れず、急遽、改装中のお宅にお邪魔することに。

改装前のお宅は、雑貨屋さんを営んでいたようで、上空から見ると家の形は、扇型。室内にはレトロな商品棚や昔懐かし広告。また、天井のあらわし梁もダイナミックです。観光客や地元の方々が集まり、ゆくゆくは宿泊などもできるように施設にしたいとのこと。桜の保全や空き家リノベーションなど、学生さんも含め、様々な方が有機的につながり、より地域が盛り上がっていくことに期待大です。



今回の参加者



旧雑貨屋



桜のナンバリング